

第14回地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会

1. 日 時 平成23年7月27日水曜日 16:00～16:58
2. 場 所 三宮研修センター 7階 705会議室

開会 午後4時00分

○事務局

定刻になりましたので、始めさせていただきますと思います。

本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

それではまず、委員会の成立につきまして御報告申し上げます。

本日の出席者、ただいま5名となっております。委員総数8名の過半数に達しておりますので、委員会は成立いたしております。

続きまして本日の議題でございますが、まず、議題（1）のほうでございます。

22年度事業に係る業務の実績に関する評価（全体評価・大項目評価・小項目評価）についてでございますが、前回7月20日の委員会におきまして、22年度事業に対する評価について、委員の皆様からいただきました御意見、御質問、そういうものを反映いたしました評価委員会としての大項目評価の（案）、それから小項目評価の（案）を事務局から御報告させていただきます。そして、大項目評価の（案）、小項目評価の（案）を踏まえまして、事務局で作成いたしました全体評価の（案）につきましても、あわせて御報告させていただきたいと思えます。その後、この評価について委員の皆様方に御議論いただきまして、委員会の報告としてまとめていただければと考えてございます。

それから、議題の（2）でございます。財務諸表の承認の際の意見についてでございますが、地方独立行政法人法第34条3項の規定によりまして、市長が法人から提出された財務諸表の承認の際に必要な評価委員会による意見聴取をお願いするものでございます。

そうしましたら、お手元の会議資料を御確認いただきたいと思います。本日お配りしております資料、まず資料 1-1、1-2、それから A3 の横長の 1-3、それから A4 に戻りまして、資料 2、資料 3、それから参考資料の 1 と、本日欠席された委員のコメントの 7 種類の資料となっておりますが、お手元におそろいでしょうか、よろしゅうございますでしょうか。

そうしましたら、審議に入ります前に、この場をおかりしまして、中央市民病院より御報告をさせていただきたいことがございますので、よろしく願いいたします。

○神戸市民病院機構より中央市民病院の医療事故について報告

○事務局

そうしましたら、以降の議事進行につきましては、委員長のほうにお願いしたいと思いますので、よろしく願いします。

○委員長

それでは、第 14 回地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会を開催させていただきます。

本日の議題は、(1) の 22 年度事業に係る業務の実績に関する評価についてと、(2) の財務諸表の承認の際の意見についてという 2 点でございます。

それではまず最初に、1 番目の 22 年度事業に係る業務の実績に関する評価に入りたいというふうに思います。

それでは、事務局のほうからよろしく願いいたします。

○事務局より資料に基づき説明

○委員長

ただいま、事務局のほうから、小項目、大項目、それから全体評価に関して報告がございました。

まず最初に、小項目と大項目に関して御意見をいただいて、その後全体評価というふうに移りたいと思います。

それでは、小項目と大項目に関しまして、皆様方の御意見を賜りたいというふうにありますので、どこからでも結構でございますので、お願いいたします。

○委員

そしたら小項目ですね、小項目大項目にかかわらず意見として、これは（案）で修正できるのであれば、ちょっと修正していただきたい箇所が2点ほどありましたので、そしたら資料1-2の2ページの一番下から2行目、多分前回言ったと思いますが、新型インフルエンザ等感染症とありますけども、新型インフルエンザそのものは今ないんですけれども、今後新しく起これば、また新型インフルエンザになりますけども、それが毒性が強いものもあれば弱いものもあるということで、ここで言った意味は、かなりの強毒性のものを想定しておりますので、できれば、強毒性というのは一般的な言い方ですので、高病原性インフルエンザというふうに直していただけたらと思います。

それからもう一つ、その資料の8ページですね、8ページの評価に当たっての意見の5行目の真ん中辺、ジェネリック、後発医薬品に関する記事のところですけども、「そのため、安全性にも配慮しながら」というところは、もうちょっと強く「安全性に充分配慮したうえで」という文言に変えていただければ意味は通るかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○委員長

今、委員のほうから修正をしていただきたいという点がございましたけども、事務局（案）にそれを訂正するというごさいますので、いかがでしょうか、事務

局のほうは。

○事務局

御意見なければ、そういうふうに修正させていただきます。

○委員長

という事務局のレスポンスだったんですけども、そのような形でよろしいでしょうか。

じゃあ、そのようにさせていただきます。

ほかにございませんか。いかがでしょうか、特にございませんか。

(「なし」という声あり)

○委員長

そうしましたら、大項目と小項目に関しましては御承認ということにさせていただきます。

引き続きまして、全体評価のほうに移りたいと思います。

資料1-1でございますが、この点に関しまして何か御意見あるいは御質問などございましたら、お願いいたします。

大項目と小項目を反映した形になっているので、その大項目と小項目に特に問題なければ、まとめ方を除いては特に問題ないと思うんですけども、文章表現とかどんなことでも結構でございますので、特にございませんでしょうか。

委員、お願いします。

○委員

ちょっとだけ確認をよろしいでしょうか。

ずっと引きずってきているこの退院サマリーの期限内提出ということなんですけども、ずっと引きずって最後のところの結構ウェイトが大きくなってきているように見えるんですが、退院サマリーが遅れたらどんな支障が現実により得るのか、余りないことなのかというのがちょっとまだ、臨床研修病院の指定であって、連携と

という言葉が出てますので、そこまでは見えるんですけど、上にずっと上げていくほど大事なことになるのかなのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

○委員長

お願いいたします。

○神戸市民病院機構

退院サマリーというのは、患者さんが入院なさって、それで大体治療が急性期から急性期の医療が完結するという段階で整理していただいて、その患者さんが地域の病院にいらっしゃる場合ですね、あるいは開業医の先生方にいらっしゃる場合、そのサマリーがないと基本的には診療が継続しないということがございまして、当然のことながら、これは医師としてやる義務があるというふうに認識しております。

ただ非常に忙しいので、なかなかきちんとできてないのが現状のようなのでありますけれども、これは医療評価のほうでは100%ということでももちろんなっておりますので、若干時間がかかる場合もあるかもしれませんが、やっていただかないといけない。そうじゃないと、例えば、地域の連携医の先生方から、一体どうなってるんだというような御指摘もいただいております、これは治療の継続性から言っても義務だというふうに思っております。よろしゅうございますか。

○委員長

ありがとうございます。

○委員

やはり現場で、開業医のほうから病院のほうへ紹介した患者さんのレスポンス、退院サマリーが早くこちらの手元に来ないと、患者さんのほうが先着てしまうというケースもありますので、そういう場合、神戸市内にたくさん病院ありますから、そういうときに、次からはまた別の病院に紹介しようかなという行動にもなりますので、これは各病院そうなんですけども、退院サマリーをできるだけ速やかに、院内の問題もありますけども、紹介元にしっかりと、素早く迅速に送るということが、

地域連携の上では非常に大事だと思っておりますので、ぜひぜひ、100%近くお願いしたいと思っております。本当に忙しいのは、我々もよく存じておりますけども。

○神戸市民病院機構

今おっしゃったことに尽きると思っておりますけれども、一つのけじめといいますか、めり張りといいますか、やはり業務を速やかに責任を持って遂行していく上での象徴的な出来事だというふうに理解しておりますので、ここがルーズにされますと、ほかのあらゆる面がルーズになっていくということだろうと認識してます。

○委員長

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

委員、お願いします。

○委員

今のことで、退院サマリーの提出については議論をまたないんですが、じゃあどうするかということについての議論が必要だと思うんですね。私の経験では、平均値はこうだけれども、ある診療科もしくはある医師というように、比較的特定できる可能性が強いんですね。じゃあ、特定したら、その医師を責めるのかということですがけれども、私はそれは改善にはならないと思っているんです。やはり、だれもわざと遅らそうという風潮はないわけでありまして、業務そのものがものすごく過重になっている可能性はないかということです。

ですから、そういうことも含めて、医師の業務を支援するクラークさんであるとか、そういうものが今導入できることになっていきますので、それと連動しながら、ぜひ改善をしていただきたいというふうに思います。

○委員長

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

○委員

今の関連で教えてください。

その退院サマリーというのは、何かフォーマットというか、決まっておるんですか、素人なんで教えていただきたいんですけど。

○委員長

どうでしょうか。

○神戸市民病院機構

フォーマットはちゃんとございます。

○委員長

ほかにございませんでしょうか。

特になければ、御承認ということによろしいでしょうか。

(「結構です」という声あり)

○委員長

ありがとうございます。

それでは、全体評価、それから大項目、小項目に関しましては、修正された点を修正して、御承認ということにさせていただきました。どうもありがとうございます。

続きまして、2番目の財務諸表の承認の際の意見についてというところに移りたいというふうに思います。

それでは、事務局のほうから説明をお願いいたします。

○事務局より資料に基づき説明

○委員長

今、報告がございましたけども、この点につきまして何かございますでしょうか。

どうぞ。

○委員

これはこれでいいんですけども、今後の検討をしていただくお願いなんですが、一般には財務諸表というのは、複数年度の比較ができるように、前年度の財務結果についても財務諸表に載せるというのが企業なんかで一般的なんですね。独立行政法人化した以降の組織というのは、この形式のように単年度だけで書いてあるのが僕も多いと思うんですが、これ単年度主義の名残というか、やはり継続的に事業をやっていくという点では、前年度の財務諸表の結果についても、この財務諸表というところに前年度の比較ができるように数字を載せていただくというのは、これは、より開示としては丁寧な開示になると思いますので、今後の改善に向けて、前年度を載せること自体はそんなに手間ではないと思いますので、見た者にとっては非常に丁寧につくられているなというふうに思いますので、御検討いただきたいというお願いでございます。

○委員長

ありがとうございます。

今の点につきましては、今後の検討課題ということにさせていただきたいというふうに思います。

ほかにございませんか。

(「なし」という声あり)

○委員長

特になければ御承認ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

○委員長

ありがとうございます。

それでは、法律の定めるところによりまして、財務諸表の承認に関して意見書を

市長に提出するということになっております。事務局のほうで意見書を用意してもらってますので、今配付しております。

それでは、事務局から御説明をお願いいたします。

○事務局より配布資料を説明

○委員長

という内容でございます。何か御意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(「なし」という声あり)

○委員長

それでは、御承認ということにさせていただきます。どうもありがとうございます。

以上で、本日の審議は終了いたしました。

最後に、法人のほうから何かございますでしょうか。

○神戸市民病院機構理事長 あいさつ

○委員長

ありがとうございました。

では、事務局のほうから何かございますか。

○事務局

本日はお忙しい中、御審議いただきましてありがとうございました。

22年度事業にかかわります業務の実績に関します評価にしましては、この結果につきまして、今日おまとめいただいたものを8月18日に委員長のほうから副市長のほうへ御報告いただきたいと思います。その後、8月26日に開かれます市議

会において報告をさせていただき予定になってございます。

今回で22年度事業に係ります業務の実績に関する評価につきましては終了となりますので、保健福祉局長より一言ごあいさつをさせていただきたいと思っております。

○神戸市保健福祉局長 あいさつ

○委員長

それでは、これで14回の市民病院機構評価委員会を終了いたします。

委員の方々には、お忙しい中御参加いただきまして本当にありがとうございます。また、これから暑い夏が続きますが、皆様方、どうかお体御自愛のほどよろしくお願いいたします。どうもありがとうございます。

閉会 午後4時58分